別表第二第一号の表中「一四・三七六」を「一四・六四九」に、「一三・七二〇」を「一三・九八一」に、「一三・三四四」を「一三・五九八」に、「一二・四三六」を「一二・六七二」に、「一〇・五三七」を「一〇・七三七」に、「九・三五八」を「九・五三六」に、「八・四一八」を「八・五七八」に、「七・六三八」を「七・七八三」に、「七・二一九」を「七・三五六」に、「六・三一三」を「六・四三三」に、「六・〇一一」を「六・一二五」に、「五・二八〇」を「五・三八〇」に、「四・二〇五」を「四・二八五」に、「三・七九七」を「三・八六九」に、「二・五九八」を「二・六四七」に、「一・八三六」を「一・八七一」に、「一・七四一」を「一・七七四」に、「一・五四五」を「一・五七四」に、「一・四四八」を「一・四七六」に、「一・三二五」を「一・三五〇」に、「一・二七三」を「一・二九七」に改め、別表第二第二号の表中「一四・五二〇」を「一四・七九六」に、「一三・八五七」を「一四・一二〇」に、「一三・四七六」を「一三・七三二」に、「一二・五五九」を「一二・七九八」に、「一〇・六四二」を「一〇・八四四」に、「九・四五一」を「九・六三一」に、「八・五〇三」を「八・六六五」に、「七・七一四」を「七・八六一」に、「七・二九〇」を「七・四二九」に、「六・三七六」を「六・四九七」に、「六・〇七〇」を「六・一八五」に、「五・三三二」を「五・四三三」に、「四・二四八」を「四・三二九」に、「三・八三五」を「三・九〇八」に、「二・六二五」を「二・六七五」に、「二・二四五」を「二・二八八」に、「一・八五七」を「一・八九二」に、「一・五六〇」を「一・五九〇」に、「一・三四〇」を「一・三六五」に、「一・四四三」を「一・四九四」に、「一・三〇八」を「一・三四〇」に、「一・二八四」を「一・三〇八」に改め、別表第二第三号の表中「一四・八三二」を「一五・一一四」に、「一四・一五四」を「一四・〇二八」に、「一三・七六六」を「一四・〇二〇」に、「一二・八三二」を「一三・〇七五」に、「一〇・八七二」を「一一・〇七九」に、「九・六五六」を「九・八三九」に、「八・八五三」を「八・六八八」に、「七・八七九」を「八・〇二九」に、「七・五九〇」を「六・五一一」に、「六・六三五」を「六・一九九」に、「六・三一七」を「五・四四六」に、「五・五四九」を「四・四一九」に、「四・三三七」を「四・四一九」に、「三・九九三」を「三・九四六」に、「二・六七九」を「二・七三〇」に、「二・二九一」を「二・三一一」に、「一・八九四」を「一・九三〇」に、「一・七九七」を「一・八三一」に、「一・五九〇」を「一・六二〇」に、「一・四九七」を「一・五二五」に、「一・四九四」を「一・五二四」に改め、別表第二第四号の表中「一四・一一四」を「一五・一九三」に、「一四・二二四」を「一四・四九四」に、「一三・八三七」を「一四・一〇〇」に、「一二・八九六」を「一三・一四一」に、「一〇・九二七」を「一一・一三五」に、「九・七三二」を「八・〇六九」に、「八・八八八」を「九・八八八」に、「七・九一九」を「八・〇六九」に、「六・二三一」を「七・〇四四」に、「六・五四六」を「七・六二七」に、「五・四七二」を「六・五七六」に、「四・三六〇」を「四・四四三」に、「三・九四〇」を「三・九四〇」に、「二・三四八」を「二・三四五」に、「一・七四〇」を「一・七七三」に、「一・八四二」を「一・八四〇」に、「一・五〇五」を「一・五三四」に、「一・四八四」を「一・四八四」に改め、別表第二第五号の表中「一四・五五五」を「一五・二五六」に、「一四・二八四」を「一四・九七二」に、「一三・一九五」を「一三・一九四」に、「一二・九四九」を「一二・一四五」に、「一〇・九七〇」を「一〇・一〇〇」に、「九・七四五」を「九・九三〇」に、「八・七六六」を「八・九三三」に、「七・九四九」を「七・六五九」に、「六・五七三」を「六・六九八」に、「五・四六一」を「五・五一六」に、「四・三七七」を「四・四〇六」に、「三・九五六」を「四・〇三一」に、「二・七〇三」を「二・七五四」に、「二・三一四」を「二・三五八」に、「一・九一一」を「一・九四七」に、「一・八四八」を「一・七四七」に、「一・五一二」を「一・五四〇」に、「一・三五〇」を「一・三八九」に改め、別表第二第六号の表中「一五・〇七九」を「一五・三六六」に、「一四・三八八」を「一四・六六一」に、「一三・九九五」を「一四・二六一」に、「一三・〇四二」を「一三・二九〇」に、「一一・〇五一」を「一一・二六一」に、「九・八一五」を「一〇・〇〇一」に、「八・八三〇」を「八・九九八」に、「八・〇〇九」を「八・一六一」に、「七・五七二」を「七・七一六」に、「六・六二二」を「六・七四八」に、「六・三〇二」を「六・五三八」に、「五・六四三」を「五・六四八」に、「四・四〇七」を「四・四九一」に、「三・九八三」を「四・〇五九」に、「二・七三三」を「二・七七五」に、「一・九二六」を「一・九六三」に、「一・八二八」を「一・八六三」に、「一・六四九」を「一・六九二」に、「一・五二二」を「一・五五〇」に、「一・三九一」を「一・四一七」に、「一・三三五」を「一・三六〇」に改め、別表第二第七号の表中「一五・二〇一」を「一五・四九〇」に、「一四・七七九」を「一四・一〇六」を「一四・三七四」に、「一三・三九八」を「一四・一八三」に、「一二・九九六」を「一三・一四八」に、「一一・一三八」を「一一・一五〇」に、「九・八九四」を「一〇・〇八二」に、「八・九四二」を「九・〇七一」に、「八・〇七五」を「八・二二八」に、「七・六三五」を「七・八〇九」に、「六・五四五」を「七・〇四二」に、「六・三四九」を「六・五三八」に、「五・六八三」を「六・四二二」に、「五・三四六」を「五・五一九」に、「四・〇一六」を「四・〇九二」に、「三・九四四」を「四・〇一六」に、「三・九四〇」を「三・九七八」に、「二・七四五」を「二・七九七」に、「二・一六三」を「二・一六六」に、「一・八〇八」を「一・八四二」に、「一・六二九」を「一・六五二」に、「一・五四六」を「一・五七六」に、「一・四八四」を「一・五一四」に、「一・三五一」を「一・三八九」に改め、別表第二第八号の表中「一五・二〇四」を「一五・三六六」に、「一四・一二〇」を「一四・三九九」に、「一三・一六一」を「一四・一五一」に、「一一・一五一」を「一一・三六三」に、「九・九〇二」を「一〇・〇九〇」に、「八・九一〇」を「九・〇七九」に、「八・〇八四」を「八・二三八」に、「七・六四二」を「七・七八七」に、「六・六八〇」を「六・八〇七」に、「六・三六〇」を「六・四八二」に、「五・六九三」を「五・六八七」に、「四・四五〇」を「四・五三五」に、「四・〇二二」を「四・〇九七」に、「三・九四四」を「三・九八一」に、「二・三九六」を「二・四〇二」に、「一・九四四」を「一・九七八」に、「一・八一七」を「一・八四一」に、「一・七五九」を「一・八〇九」に、「一・六九二」を「一・七二二」に、「一・五二九」を「一・五五〇」に、「一・三九一」を「一・四一七」に、「一・三六〇」を「一・三九九」に改め、別表第二第九号の表中「一五・〇七九」を「一五・三六六」に、「一四・二六一」を「一四・四九五」に、「一三・〇四二」を「一三・二九〇」に、「一一・二六一」を「一一・五四六」に、「九・八一五」を「一〇・〇〇一」に、「八・八三〇」を「八・九九八」に、「八・〇〇九」を「八・一六一」に、「七・五七二」を「七・七一六」に、「六・六二二」を「六・七四八」に、「六・三〇二」を「六・五三八」に、「五・六四三」を「五・六四八」に、「四・四〇七」を「四・四九一」に、「三・九八三」を「四・〇五九」に、「二・七三三」を「二・七七五」に、「一・九二六」を「一・九六三」に、「一・八二八」を「一・八六三」に、「一・六四九」を「一・六九二」に、「一・五二九」を「一・五五〇」に、「一・三九一」を「一・四一七」に、「一・三六〇」を「一・三九九」に改め、別表第二第十号の表以外の部分中「昭和三十二年四月二日」を「昭和三十三年四月二日」に改め、同表中「一五・二五九」を「一五・五四九」に、「一四・八三八」を「一四・一〇六」に、「一三・四五一」を「一三・四九五」に、「一一・一四四」を「一一・三九六」に、「九・一〇六」を「九・一〇七」に、「八・二六一」を「八・二九三」に、「七・六六五」を「七・八一一」に、「六・六九九」を「六・八二六」に、「六・三八〇」を「六・五〇一」に、「五・六〇九」を「五・七〇九」に、「四・四六三」を「四・五四八」に、「四・〇三三」を「四・〇九〇」に、「三・九八七」を「三・九九〇」に、「二・八〇八」を「二・八五二」に、「二・三五七」を「二・四〇二」に、「一・九八六」を「一・九九〇」に、「一・八八六」を「一・八九二」に、「一・七五九」を「一・八〇二」に、「一・六九二」を「一・七二二」に、「一・五二九」を「一・五五〇」に、「一・三九一」を「一・四一七」に、「一・三六〇」を「一・三九九」に改め、別表第二第十一号の表中「一五・二五九」を「一五・五四九」に、「一四・八三八」を「一四・一〇六」に、「一三・四五一」を「一三・四九五」に、「一一・一四四」を「一一・三九六」に、「九・一〇六」を「九・一〇七」に、「八・二六一」を「八・二九三」に、「七・六六五」を「七・八一一」に、「六・六九九」を「六・八二六」に、「六・三八〇」を「六・五〇一」に、「五・六〇九」を「五・七〇九」に、「四・四六三」を「四・五四八」に、「四・〇三三」を「四・〇九〇」に、「三・九八七」を「三・九九〇」に、「二・八〇八」を「二・八五二」に、「二・三五七」を「二・四〇二」に、「一・九八六」を「一・九九〇」に、「一・八八六」を「一・八九二」に、「一・七五九」を「一・八〇二」に、「一・六九二」を「一・七二二」に、「一・五二九」を「一・五五〇」に、「一・三九一」を「一・四一七」に、「一・三六〇」を「一・三九九」に改める。